

## 第 8 1 回

# トラック運送業界の景況感（速報）

平成 2 5 年 1 月～ 3 月 期

---

平成 2 5 年 1 月～ 3 月 期は、急激な円安に伴い、自動車関連などの輸出関連企業には明るさが感じられるようになり、また、アベノミクスによる経済効果から、円安、株高や高額品の消費が伸びを見せるなど、企業マインドを改善に向かわせる要素があった。景気回復の兆しもあり、貨物量が増加する一方で、軽油価格の高騰など、トラック運送業界にとっては燃料コストの負担が大きい状況が継続している。

このような中、トラック運送業界の景況感の判断指数は▲ 3 5 となり、前回（▲ 3 8）より 3 ポイント上昇し、やや改善した。日銀及び経済産業省の 1～3 月期の調査においては、製造業を中心に業況判断 DI 値はおおむね上昇しているが、運輸業界は回復に遅れがみられる状況にある。本調査においても、業界の改善の勢いは弱い。

今後は、個人消費や企業マインドの改善など経済効果への期待が高まる一方で、円安による燃料コスト増が見込まれているなど不安要因もある。業界の景況感の判断指標は、今回から 4 ポイント上昇の▲ 3 1 となり、やや改善に向かう見込みである。

---

平成 2 5 年 5 月 1 7 日

公益社団法人 全日本トラック協会

## 1. 今回（平成25年1月～3月期）の状況

### ①概況

平成25年1～3月期におけるトラック運送業界の景況感は、「好転」とした事業者は11%（前回11%）、「悪化」とした事業者は41%（前回44%）で、判断指標は▲35となり、前回（▲38）より3ポイント改善した。

### ②特別積合せ貨物

宅配貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が27%、「増加」とする事業者が21%で、判断指標は▲7となり、前回（▲22）から15ポイント改善した。営業収入は「減少」とする事業者が26%、「増加」とする事業者が17%で、判断指標は▲11となり、前回（▲22）よりも11ポイント改善した。営業利益は「減少」とする事業者が31%、「増加」とする事業者が20%で、判断指標は▲17となり、前回（▲24）から7ポイント改善した。

宅配以外の特積貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が25%、「増加」とする事業者が24%で、判断指標は+1となり、前回（▲8）から9ポイント改善した。営業収入は「減少」とする事業者が27%、「増加」とする事業者が26%で、判断指標は0となり、前回（▲9）から9ポイント改善した。営業利益は「減少」とする事業者が36%、「増加」とする事業者が14%で、判断指標は▲23となり、前回（▲13）から10ポイント悪化した。

### ③一般貨物

一般貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が37%、「増加」とする事業者が22%で、判断指標は▲20となり、前回（▲23）から3ポイント改善。営業収入は「減少」とする事業者が40%、「増加」とする事業者が23%で、判断指標は▲24となり、前回（▲23）とほぼ横ばい。営業利益は「減少」とする事業者が46%、「増加」とする事業者が17%で、判断指標は▲35となり、前回（▲34）とほぼ横ばい。

### ④運賃水準

運賃水準は、宅配貨物は▲4（前回▲22）と18ポイントの改善、宅配以外の特積貨物は▲6（前回▲5）とほぼ横ばい、一般貨物は▲21（前回▲20）とほぼ横ばいとなった。

### ⑤実働率等

実働率は▲18（前回▲17）とほぼ横ばい、実車率は▲18（前回▲15）となり、3ポイント悪化している。

雇用状況（人手の過不足）は+30（前回+27）と3ポイント上昇している。採用状況は▲9（前回▲5）で指標はやや悪化し、所定外労働時間も▲7（前回▲4）とやや減少している。

保有車両台数は▲5（前回▲6）で指標はほぼ横ばい、貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）は▲10（前回▲7）で指標をやや下げている。

## ⑥地域別および規模別、取扱い品目別

業界の景況感を地域別にみると、東北は相対的に指標の水準が良い。また、前回の結果と比較すると、近畿以外のすべての地域で指標は横ばい、もしくは改善している。

事業者の規模別では、大規模事業者は相対的に指標の水準がよい。中規模・大規模事業者は前回と横ばいであるが、小規模事業者は前回よりも改善している。

主な取扱い品目別について、消費関連貨や建設関連貨物は前回よりも改善している。

## 2. 今後（平成25年4月～6月期）の見通し

### ①概況

平成25年4～6月期の見通しは、業界の景況感の判断指標は▲31で、今回から4ポイント上げる見込み。

### ②特別積合せ貨物

宅配貨物は、輸送数量は横ばい、営業収入及び営業利益も横ばいの見込みである。

宅配以外の特積貨物は、輸送数量はほぼ横ばいの見込み、営業収入及び営業利益は改善の見込みである。

### ③一般貨物

一般貨物は、輸送数量及び営業収入は改善の見込み、営業利益はほぼ横ばいの見込みである。

### ④運賃水準

宅配貨物はやや悪化の見込みであり、宅配以外の特積貨物は僅かに改善の見込みである。また、一般貨物はほぼ横ばいの見込みである。

### ⑤実働率等

実働率はほぼ横ばい、実車率は僅かに改善の見込みである。

雇用状況（人手の過不足）はやや指標の水準を上げ、引き続き不足感がある見込みである。採用状況は僅かに改善する見込み、所定外労働時間は僅かに指標の水準を下げ、減少する見込みである。

保有車両台数はほぼ横ばい、貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）は僅かに指標の水準を上げ、増加する見込み。経常損益は横ばいの見込みである。

## ⑥地域別および規模別、取扱い品目別

業界の景況感を地域別にみると、四国以外は、すべての地域で指標を上げる見込みであり、東北、中部は20ポイント以上指標を上げる見込みである。

事業者の規模別では、いずれの規模の事業者においても、10ポイント以上改善する見込みである。

主な取扱い品目別では、消費関連貨物及び建設関連貨物は、さらに改善する見込みである。

### 3. 特積貨物の概況

項目		概況						
		0%	20%	40%	60%	80%	100%	
宅	輸送数量	前回	0	16	51	29	4	(-22)
		今回	4	17	52	20	7	(-7)
		見通	0	17	63	15	4	(-7)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より15ポイント改善した。</li> <li>・規模別では中規模事業者及び大規模事業者が前回から改善しており、小規模事業者はやや悪化している。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>						
配	営業収入 (売上高)	前回	0	14	53	31	2	(-22)
		今回	2	15	57	22	4	(-11)
		見通	0	17	59	20	4	(-11)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より11ポイント改善した。</li> <li>・規模別では小規模事業者及び中規模事業者が前回から改善しており、中規模事業者は横ばいである。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>						
貨	営業利益	前回	0	8	63	27	2	(-24)
		今回	0	20	50	24	7	(-17)
		見通	0	15	59	20	7	(-17)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より7ポイント改善した。</li> <li>・規模別では中規模事業者が前回から改善しており、小規模事業者及び大規模事業者は悪化している。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>						
物	運賃・料金の水準	前回	0	2	76	20	2	(-22)
		今回	0	9	80	9	2	(-4)
		見通	0	7	80	11	2	(-9)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より18ポイント改善した。</li> <li>・規模別では中規模事業者及び大規模事業者が前回から改善しており、小規模事業者は横ばいである。</li> <li>・今後は水準をやや下げる見込み。</li> </ul>						

#### 【調査の概要】

平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。第81回調査は、平成25年4月8日に、モニターに対して調査開始。平成25年5月13日回収分までを集計。

	特積	一般	回答事業者 全体
回収数	86	608	631

※一部回答事業者の重複あり

項 目		概 況						
		0%	20%	40%	60%	80%	100%	
宅	輸送数量	前回	1	26	39	31	3	(-8)
		今回	1	23	51	25	0	(1)
		見通	1	22	55	22	0	(3)
配		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より9ポイント改善した。</li> <li>・規模別ではいずれの規模も前回から改善しているが、特に小規模事業者は改善している。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>						
以	営業収入 (売上高)	前回	1	21	48	27	3	(-9)
		今回	1	25	47	27	0	(0)
		見通	1	22	55	22	0	(3)
外		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より9ポイント改善した。</li> <li>・規模別ではいずれの規模も前回から改善している。</li> <li>・今後は水準を僅かに上げる見込み。</li> </ul>						
の	営業利益	前回	1	21	45	29	4	(-13)
		今回	0	14	49	35	1	(-23)
		見通	0	16	56	27	1	(-14)
特		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より10ポイント悪化した。</li> <li>・規模別では小規模事業者は前回から改善しているが、中・大規模事業者は悪化している。</li> <li>・今後はやや水準を上げる見込み。</li> </ul>						
積	運賃・料金の水準	前回	0	8	79	13	0	(-5)
		今回	0	8	79	12	1	(-6)
		見通	0	9	81	9	1	(-3)
貨		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より1ポイント悪化した。</li> <li>・規模別では小・中規模事業者は前回から悪化しており、特に小規模事業者は悪化している。</li> <li>・今後は水準を僅かに上げる見込み。</li> </ul>						
物								

凡例

	大幅に増加・上昇・好転・人手不足 +2点 やや 増加・上昇・好転・人手不足 +1点 横ばい 0点 やや 減少・低下・悪化・人手過剰 -1点 大幅に減少・低下・悪化・人手過剰 -2点	(注1) 各グラフの上段は前回の状況、中段は今回の状況、下段は今後の見通しを示す。  (注2) 各グラフの構成比は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。
--	--	--

(注3) グラフ右のカッコ内は業況判断指標。指標は、各設問の回答に対し、増加・好転+1~+2、横ばい0、減少・悪化-1~-2の点数を与え、1事業者当たりの平均を100倍することにより算出している。

$$A \text{ (設問Aの回答者数)} = a_1 + a_2 + a_3 + a_4 + a_5 \text{ (設問Aの選択肢1~5の回答数の和)}$$

$$\text{指標} = \{ (+2 \times a_1) + (+1 \times a_2) + (0 \times a_3) + (-1 \times a_4) + (-2 \times a_5) \} \div A \times 100$$

#### 4. 一般貨物の概況

項目	概況						
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
輸送数量 (全体)	前回	0	20	42	31	6	(-23)
	今回	0	22	40	31	6	(-20)
	見通	0	21	47	28	5	(-16)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より3ポイント改善した。</li> <li>・地域別では北陸信越、近畿が前回から改善している。品目別では機械関連が悪化している。</li> <li>・今後は水準を僅かに上げる見込み。</li> </ul>						
営業収入 (売上高)	前回	0	20	41	32	6	(-23)
	今回	1	22	37	34	6	(-24)
	見通	0	20	45	30	5	(-19)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より1ポイント悪化した。</li> <li>・地域別では北陸信越、近畿が前回から改善している。品目別では機械関連が悪化している。</li> <li>・今後はやや水準を上げる見込み。</li> </ul>						
営業利益	前回	1	15	41	36	7	(-34)
	今回	0	17	37	38	8	(-35)
	見通	0	13	43	37	7	(-36)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より1ポイント悪化した。</li> <li>・地域別では中部、四国が前回から悪化、東北、九州が前回から改善。品目別では機械関連が悪化している。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>						
運賃・料金の水準	前回	0	3	77	18	2	(-20)
	今回	0	4	74	18	3	(-21)
	見通	0	6	71	20	4	(-22)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より1ポイント悪化した。</li> <li>・地域別では北陸信越、四国が前回から改善している。品目別では機械関連が悪化している。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>						

## 5. 共通の概況

項目	概況					
	0%	20%	40%	60%	80%	100%
実働率	前回	1	14	57	24	4 (-17)
	今回	1	17	50	29	4 (-18)
	見通	0	15	55	25	3 (-16)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より1ポイント悪化した。</li> <li>・地域別では北陸信越、九州が前回から改善。品目別では消費関連が前回から改善、建設関連が悪化。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>						
実車率	前回	1	14	59	23	4 (-15)
	今回	1	15	53	27	3 (-18)
	見通	0	15	58	25	3 (-15)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より3ポイント悪化した。</li> <li>・地域別では北陸信越が前回から改善、中部が悪化。品目別では消費関連が前回から改善、その他貨物が悪化。</li> <li>・今後は水準を僅かに上げる見込み。</li> </ul>						
雇用状況 (人手の過不足)	前回	6	23	64	7	1 (27)
	今回	7	24	60	8	0 (30)
	見通	8	30	52	9	1 (36)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より3ポイント上昇した(不足感が高くなった)。</li> <li>・地域別では東北、関東、中国の水準が高く、規模別では中・大規模事業者の水準が高く、不足感がある。</li> <li>・今後はやや水準を上げる見込み。</li> </ul>						
採用状況	前回	1	10	75	12	2 (-5)
	今回	0	12	70	14	4 (-9)
	見通	1	14	69	12	4 (-6)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より4ポイント悪化した。</li> <li>・地域別、規模別、品目別の全てでほぼ前年並みとなっている。</li> <li>・今後は水準を僅かに上げる見込み。</li> </ul>						
所定外労働時間	前回	1	11	73	14	2 (-4)
	今回	0	13	68	17	2 (-7)
	見通	0	11	68	19	2 (-10)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より3ポイント減少した。</li> <li>・地域別、規模別、品目別の全てでほぼ前年並みとなっている。</li> <li>・今後は水準を僅かに下げる見込み。</li> </ul>						

項目	概況						
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
保有車両台数	前回	0	9	76	14	1	(-6)
	今回	0	9	77	12	1	(-5)
	見通	0	10	77	12	1	(-4)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より1ポイント改善した。</li> <li>・地域別では東北、中国が前回より増加、九州では減少している。品目別では機械関連が増加している。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>						
貨物の再委託 (下請運送会社への 委託割合)	前回	1	13	66	17	3	(-7)
	今回	1	13	66	18	3	(-10)
	見通	0	14	67	16	3	(-7)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より3ポイント減少した。</li> <li>・地域別では中国の水準が低い。規模別では中規模事業者の水準が低い。</li> <li>・今後は水準を僅かに上げる見込み。</li> </ul>						
経常損益	前回	1	16	41	35	6	(-30)
	今回	1	15	39	37	8	(-36)
	見通	0	13	44	37	6	(-36)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より6ポイント悪化した。</li> <li>・地域別では四国が前回から改善し、中部では悪化している。規模別では、中・大規模事業者が悪化している。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>						
業界の景況感	前回	0	11	45	39	5	(-38)
	今回	0	11	47	34	7	(-35)
	見通	0	14	46	34	6	(-31)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より3ポイント改善した。</li> <li>・地域別では東北、中部、九州が前回から改善している。品目別では、消費関連が改善している。</li> <li>・今後は水準を僅かに上げる見込み。</li> </ul>						



## 6. 事業者特性格別の特徴

事業者特性	特 徴																																																																						
①地域（注4）	<p>◆「業界の景況感」の業況判断指標の地方ブロック別順位◆</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">H24年 10～12月期前回</th> <th colspan="2">H25年 1～3月期今回</th> <th colspan="2">H25年 4～6月期見通</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1位</td> <td>東</td> <td>北</td> <td>東</td> <td>北</td> <td>東</td> <td>北</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>四</td> <td>国</td> <td>四</td> <td>国</td> <td>北</td> <td>海</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>近</td> <td>畿</td> <td>北</td> <td>海</td> <td>中</td> <td>部</td> </tr> <tr> <td>4位</td> <td>北</td> <td>海</td> <td>中</td> <td>部</td> <td>九</td> <td>州</td> </tr> <tr> <td>5位</td> <td>中</td> <td>部</td> <td>九</td> <td>州</td> <td>四</td> <td>国</td> </tr> <tr> <td>6位</td> <td>九</td> <td>州</td> <td>近</td> <td>畿</td> <td>近</td> <td>畿</td> </tr> <tr> <td>7位</td> <td>関</td> <td>東</td> <td>関</td> <td>東</td> <td>関</td> <td>東</td> </tr> <tr> <td>8位</td> <td>中</td> <td>国</td> <td>中</td> <td>国</td> <td>北</td> <td>陸</td> </tr> <tr> <td>9位</td> <td>北</td> <td>陸</td> <td>北</td> <td>陸</td> <td>中</td> <td>国</td> </tr> </tbody> </table>		H24年 10～12月期前回		H25年 1～3月期今回		H25年 4～6月期見通		1位	東	北	東	北	東	北	2位	四	国	四	国	北	海	3位	近	畿	北	海	中	部	4位	北	海	中	部	九	州	5位	中	部	九	州	四	国	6位	九	州	近	畿	近	畿	7位	関	東	関	東	関	東	8位	中	国	中	国	北	陸	9位	北	陸	北	陸	中	国
	H24年 10～12月期前回		H25年 1～3月期今回		H25年 4～6月期見通																																																																		
1位	東	北	東	北	東	北																																																																	
2位	四	国	四	国	北	海																																																																	
3位	近	畿	北	海	中	部																																																																	
4位	北	海	中	部	九	州																																																																	
5位	中	部	九	州	四	国																																																																	
6位	九	州	近	畿	近	畿																																																																	
7位	関	東	関	東	関	東																																																																	
8位	中	国	中	国	北	陸																																																																	
9位	北	陸	北	陸	中	国																																																																	
②規模（注5）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業界の景況感は、規模が小さくなるほど水準が低い傾向にある。</li> </ul>																																																																						
③品目（注6）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費関連貨物を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準を上げた。一般貨物の輸送量としてみると、農水産品、特殊品の水準が相対的に低い。今後は水準をやや下げる見込み。</li> <li>・建設関連貨物を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準を上げた。一般貨物の輸送数量としてみると、鉱産品の水準が相対的に低い。今後の水準は横ばいの見込み。</li> <li>・機械関連を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準は横ばいであった。一般貨物の輸送数量としてみると、輸送機械、その他機械は水準が相対的に低い。今後の水準は横ばいの見込み。</li> <li>今後は水準をやや下げる見込み。</li> <li>・その他貨物を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準を下げた。一般貨物の輸送数量としてみると、金属、化学肥料、その他化学工業品の水準が相対的に低い。今後の水準は横ばいの見込み。</li> </ul> <div style="text-align: center;"> <p>業界の景況感(品目別、前回からの指標の増減)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目別</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消費関連貨物</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>建設関連貨物</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>機械関連貨物</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他貨物</td> <td>-4</td> </tr> </tbody> </table> </div>	品目別	増減	消費関連貨物	8	建設関連貨物	5	機械関連貨物	0	その他貨物	-4																																																												
品目別	増減																																																																						
消費関連貨物	8																																																																						
建設関連貨物	5																																																																						
機械関連貨物	0																																																																						
その他貨物	-4																																																																						

(注4) 地域分類は地方運輸局管轄地域区分に基づく。

(注5) 規模別分類

大規模事業者：101両以上

中規模事業者：21両以上100両以下

小規模事業者：20両以下

(注6) 品目別分類

消費関連貨物：農水産品、食料工業品、日用品など

建設関連貨物：林産品、砂利、砂、石材、建設用資材、窯業品（セメント等）など

機械関連貨物：電気機械（家電含む）、輸送機械（自動車等）など

その他貨物：石炭、原油、石油、化学、紙・パルプなど

## 7. 景況感一覽表

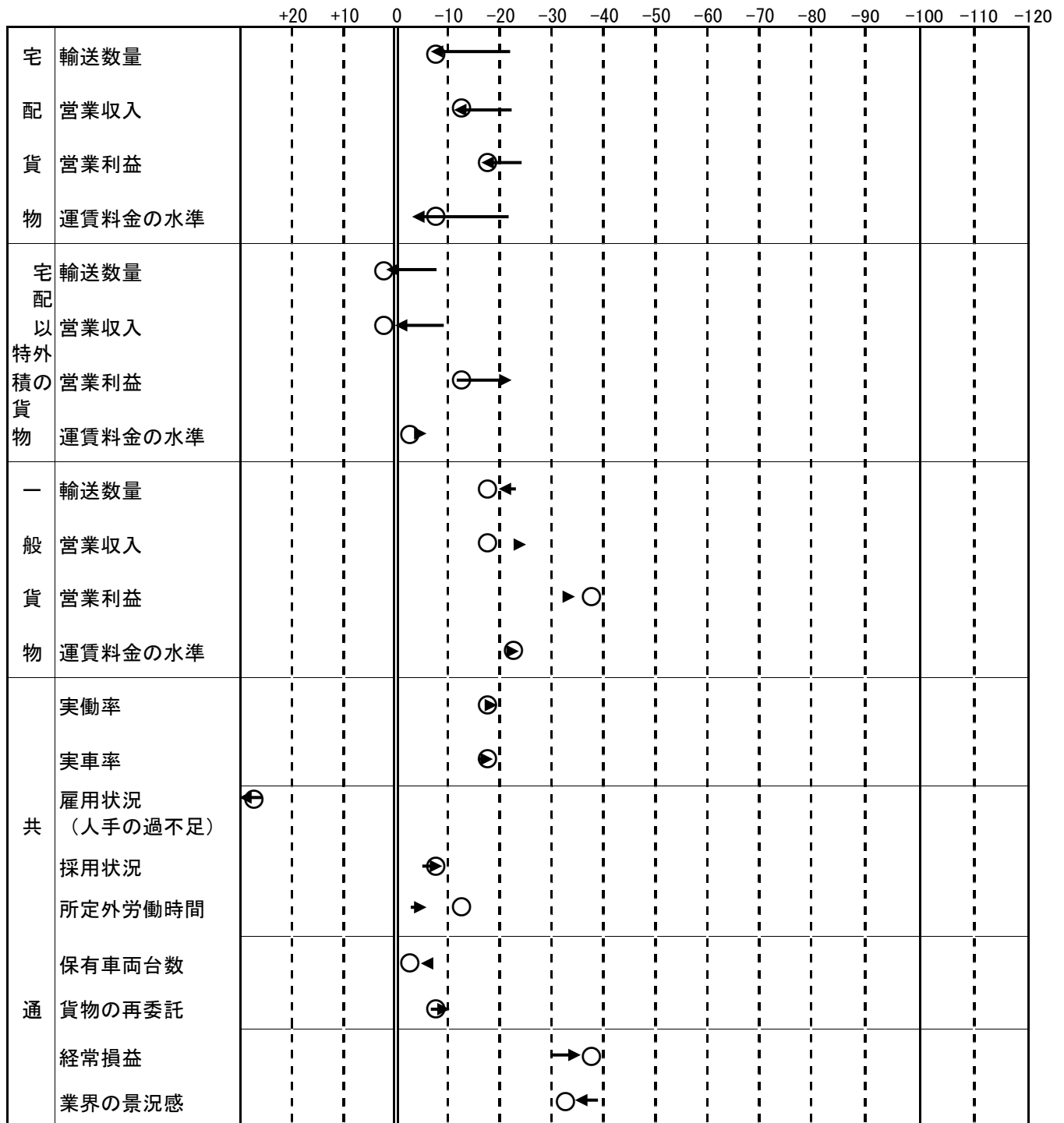
		特積貨物						一般貨物			雇用関連			総合計		
		宅配貨物			宅配以外の 特積貨物											
全体		↘	→	→	→	→	→	↘	↘	↘	→	→	→	→	→	→
地域	北海道	→	→	↗	→	↗	↗	→	↘	↘	→	→	→	→	→	→
	東北	→	↗	→	↑	→	→	→	→	→	↗	→	→	→	→	→
	北陸信越	↘	↘	↘	→	→	→	↘	↘	→	→	→	→	↘	→	→
	関東	→	↘	↘	→	↘	↘	↘	↘	↘	→	→	→	→	↘	↘
	中部	→	→	→	→	→	→	↘	↘	→	→	→	→	→	→	→
	近畿	↘	→	→	↘	→	→	↘	↘	↘	→	→	→	↘	→	→
	中国	↓↓	↘	→	↗	↗	↗	↘	↘	↘	→	→	→	↘	→	→
	四国	→	→	↘	→	↗	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	九州	→	↗	↗	→	→	→	↘	↘	→	→	→	→	→	→	→
事業者規模	小規模事業者	→	↘	↘	↘	↘	→	↘	↘	↘	→	→	→	↘	↘	↘
	中規模事業者	↘	↘	↘	→	→	↘	→	↘	↘	→	→	→	→	→	→
	大規模事業者	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
取り扱い品目	消費関連貨物	↘	→	→	→	→	→	↘	↘	↘	→	→	→	→	→	→
	建設関連貨物	→	→	↘	↘	→	→	→	→	→	→	→	→	↘	→	→
	機械関連貨物	→	→	→	→	→	→	↘	↘	↘	→	→	→	→	→	→
	その他貨物	→	→	→	→	→	→	↘	↘	↘	→	→	→	→	→	→

(注7) 各項目は、関連する判断指標（前年同期に対する水準）から平均値を算出。  
貨物別については、輸送数量、営業収入、営業利益、運賃水準の平均値で判断。

凡例 ・ 各欄は、左：前回（10-12月） 中央：今回（1-3月） 右：見通（4-6月）  
・ 矢印と判断指数の対応

判断指数	… -100 …	… -60 …	… -20 …	… +20 …	… +60 …	… +100 …
矢印	↓↓↓	↓	↘	→	↗	↑

8. 業況判断指標の前回調査（平成24年10月～12月期）からの変化



凡例

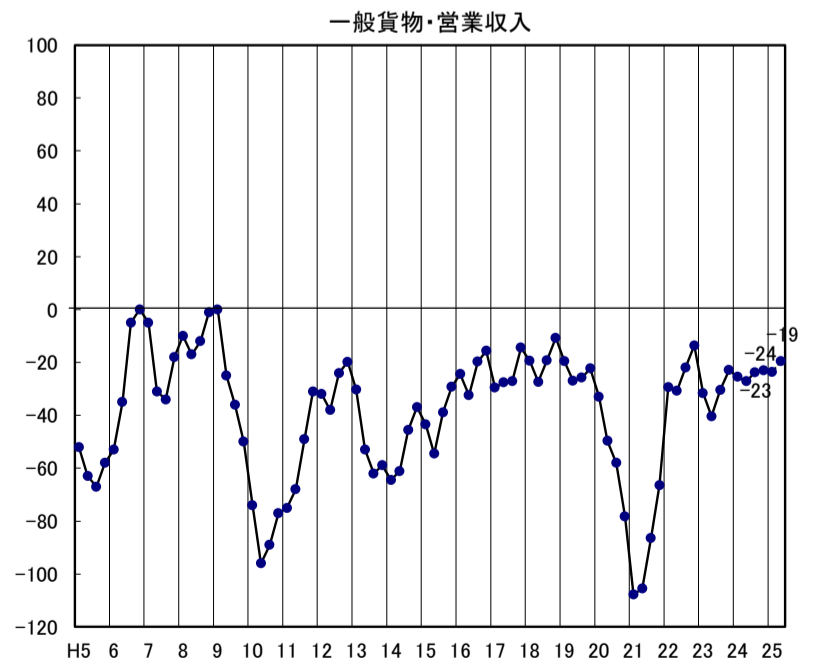
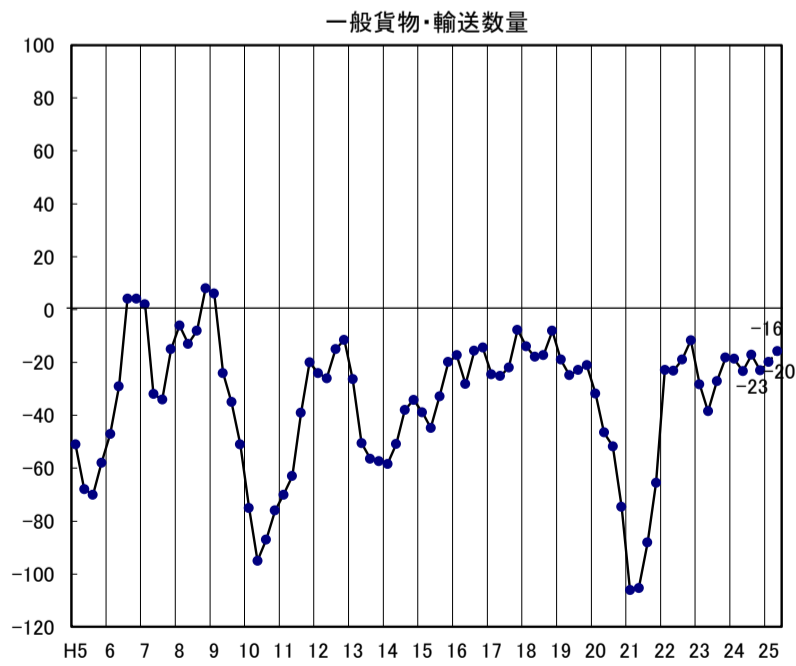
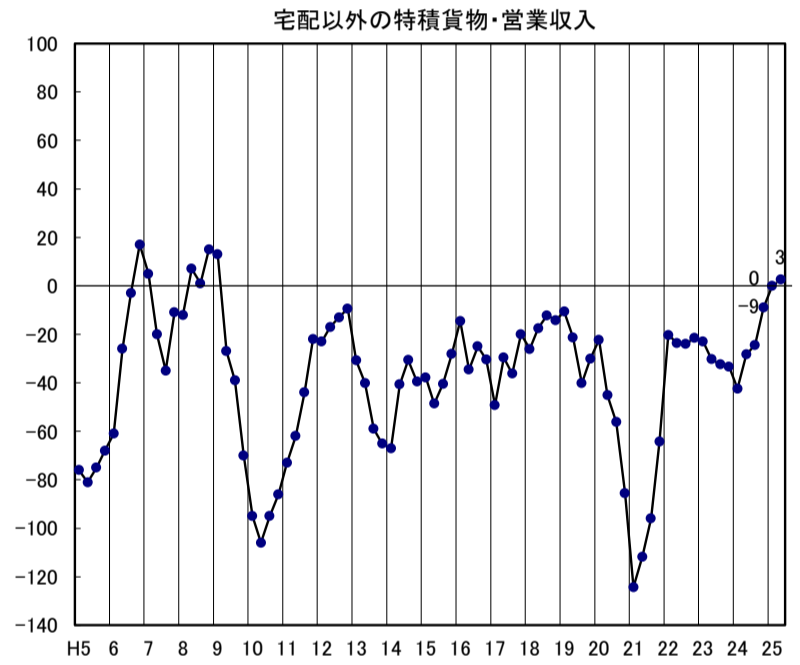
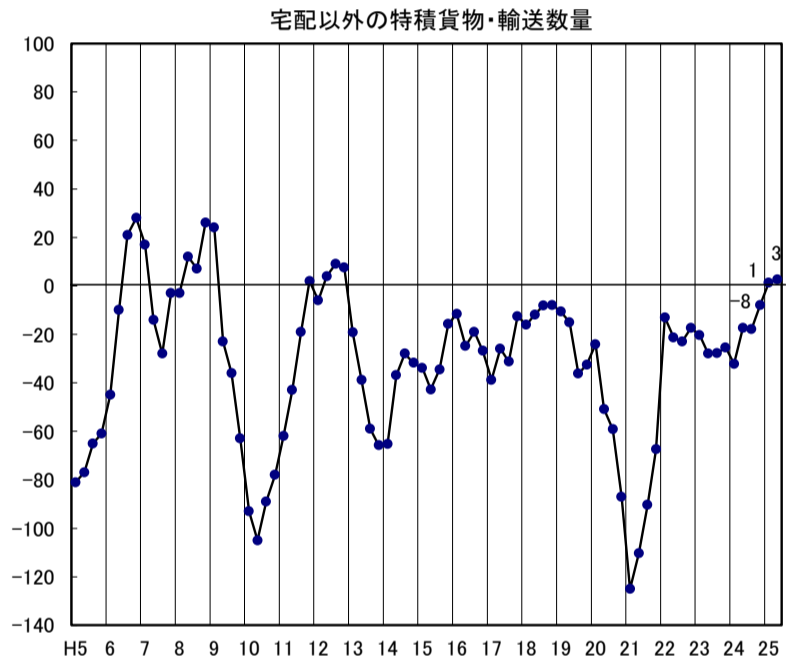
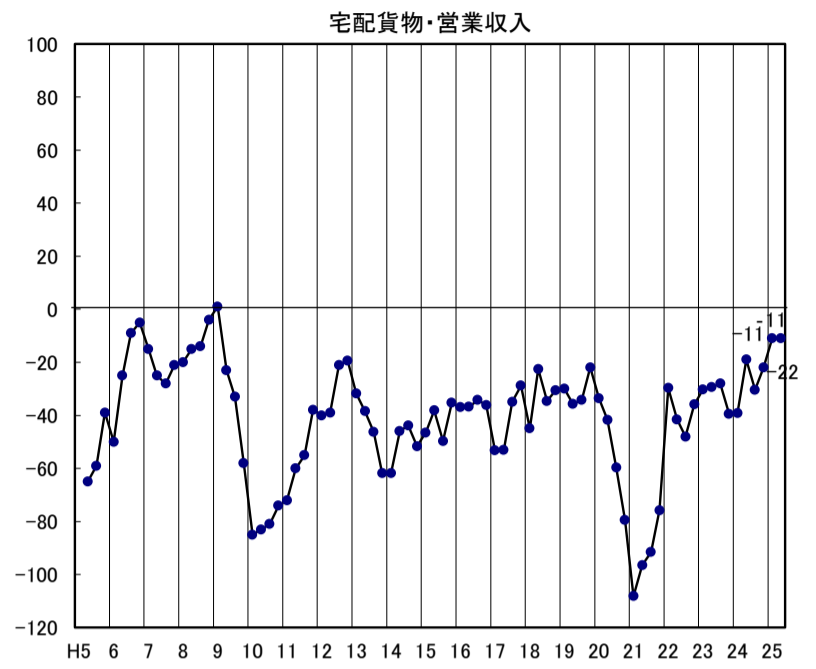
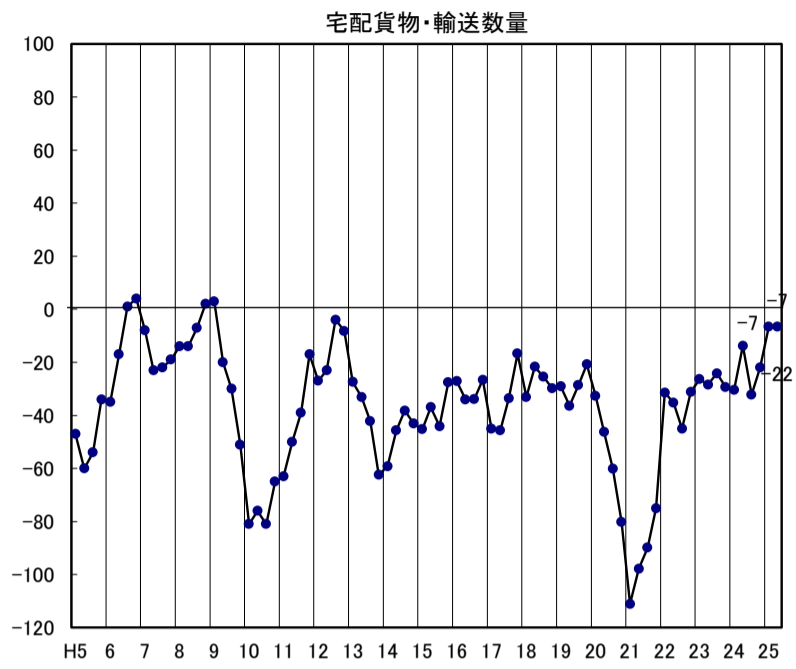
矢元：10-12月期の実績

矢先：1-3月期の実績

白丸：4-6月期の見通

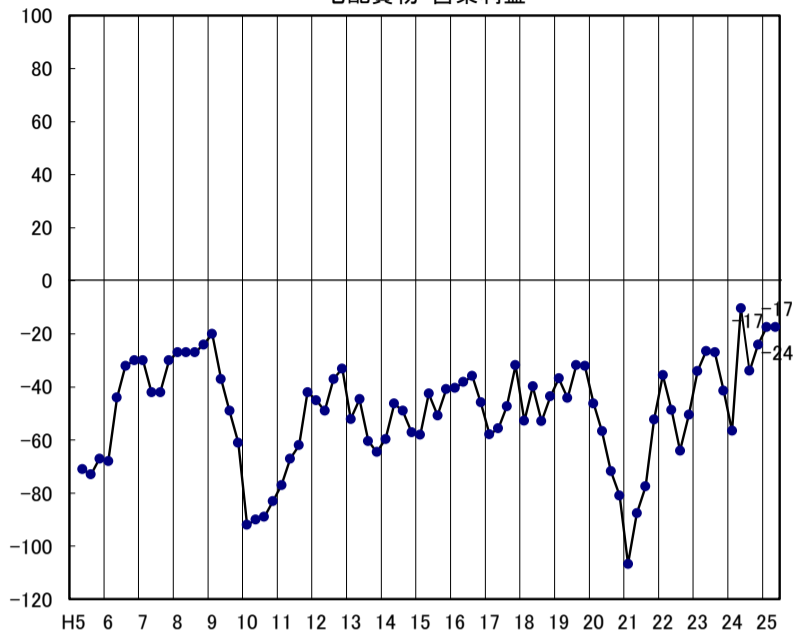
## 9. 業況判断指標の推移

平成5年第1四半期～平成25年第1四半期実績、平成25年第2四半期見通し



平成5年第1四半期～平成25年第1四半期実績、平成25年第2四半期見通し

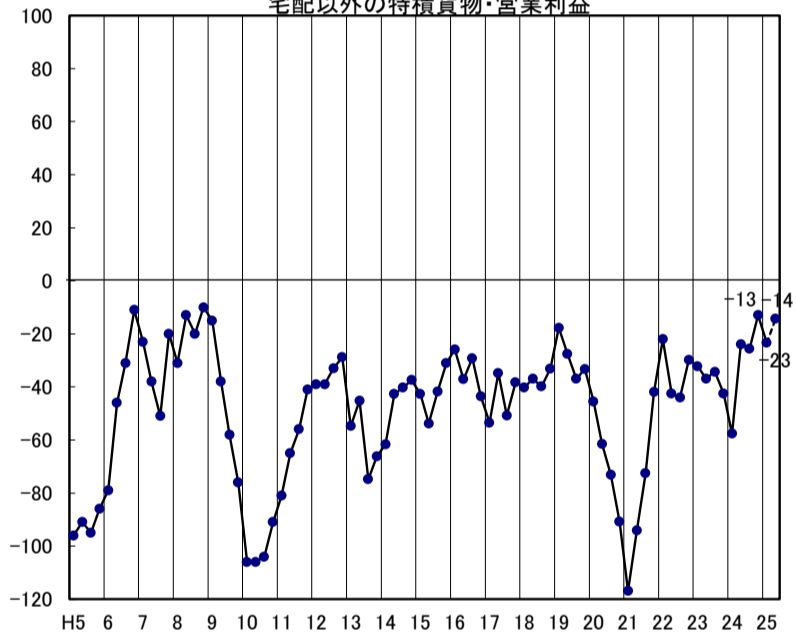
宅配貨物・営業利益



宅配貨物・運賃料金の水準



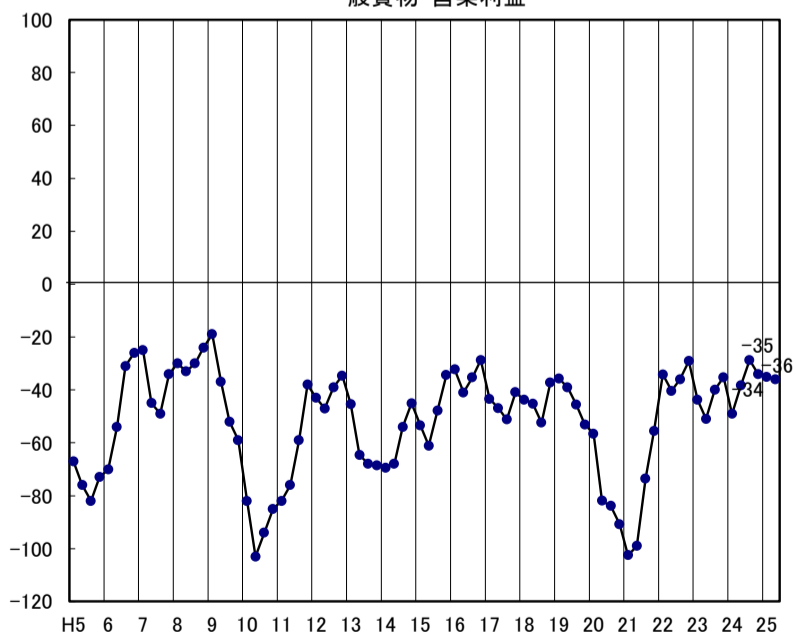
宅配以外の特積貨物・営業利益



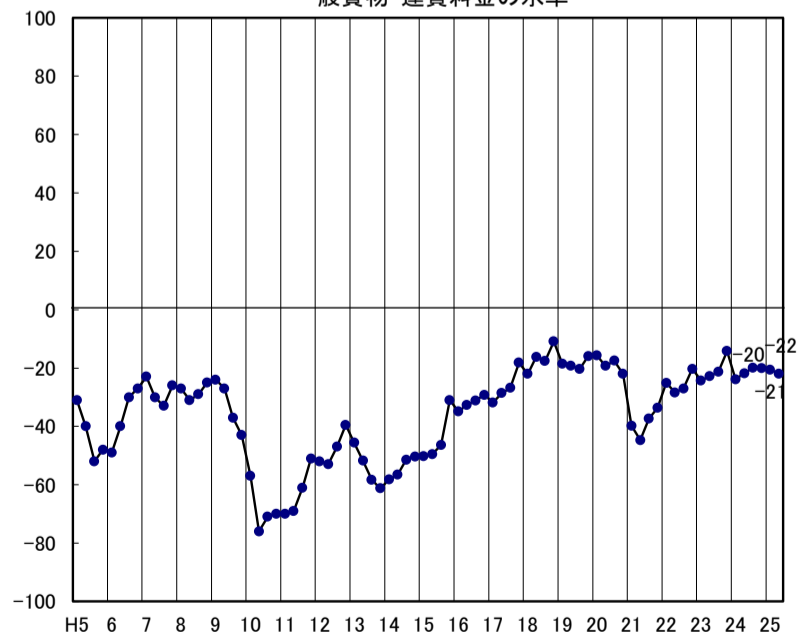
宅配以外の特積貨物・運賃料金の水準



一般貨物・営業利益

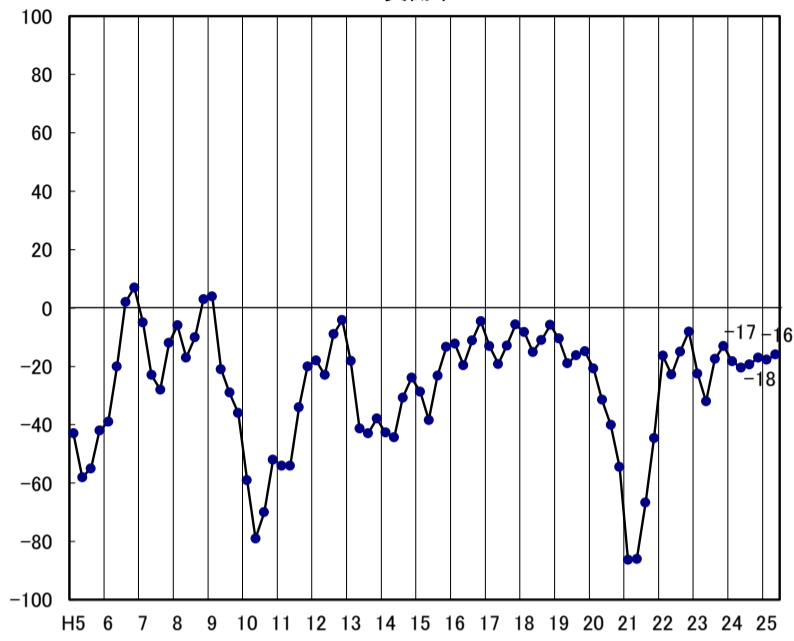


一般貨物・運賃料金の水準

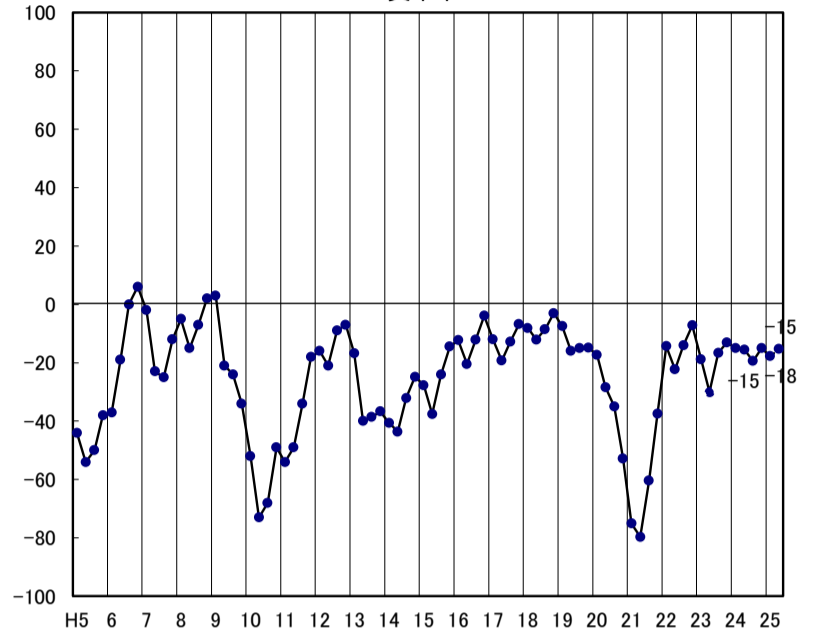


平成5年第1四半期～平成25年第1四半期実績、平成25年第2四半期見通し

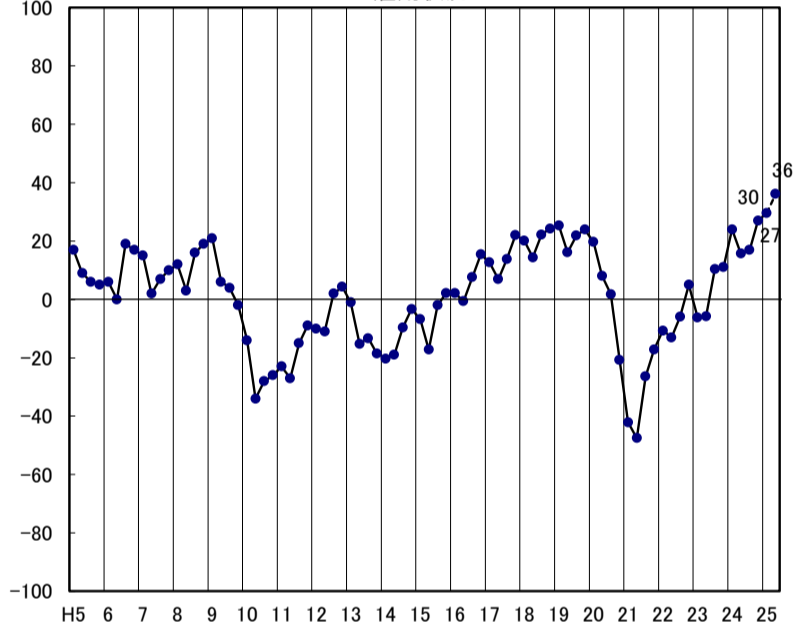
実働率



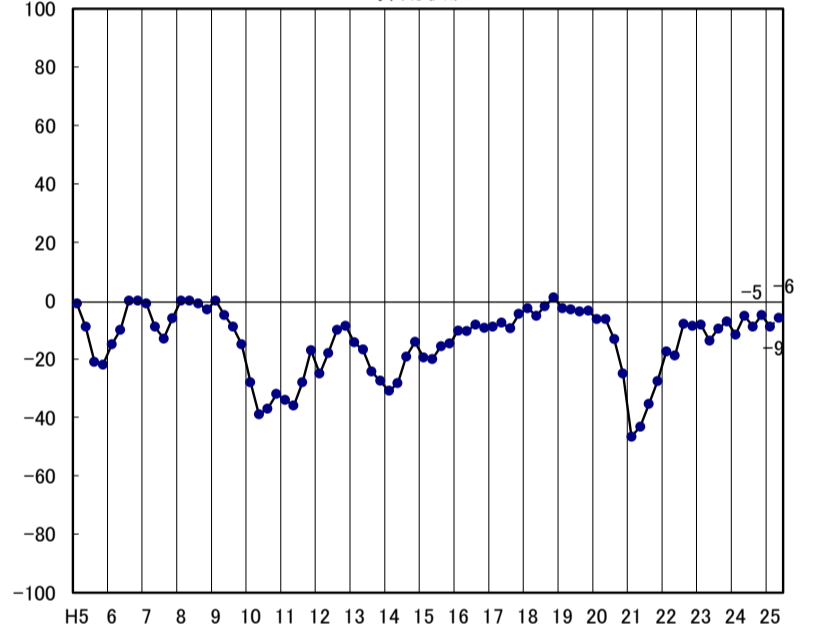
実車率



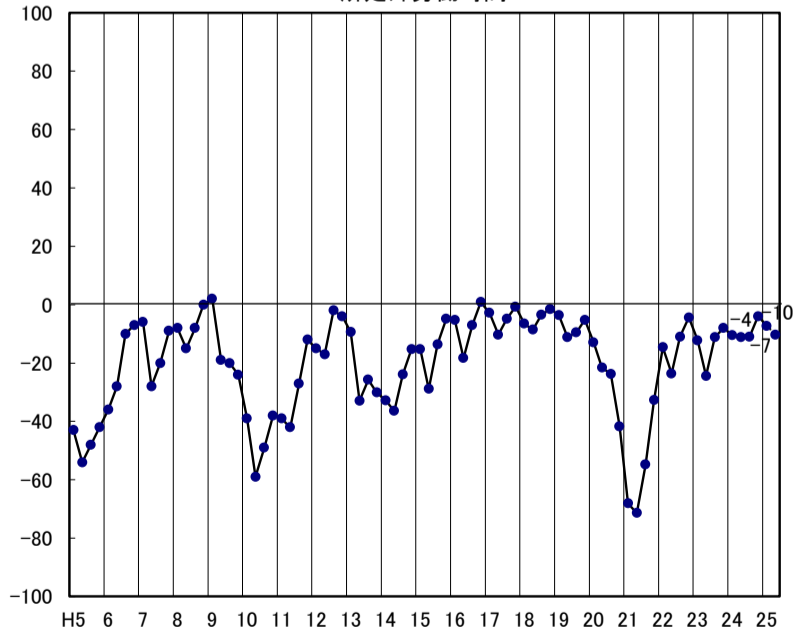
雇用状況



採用状況

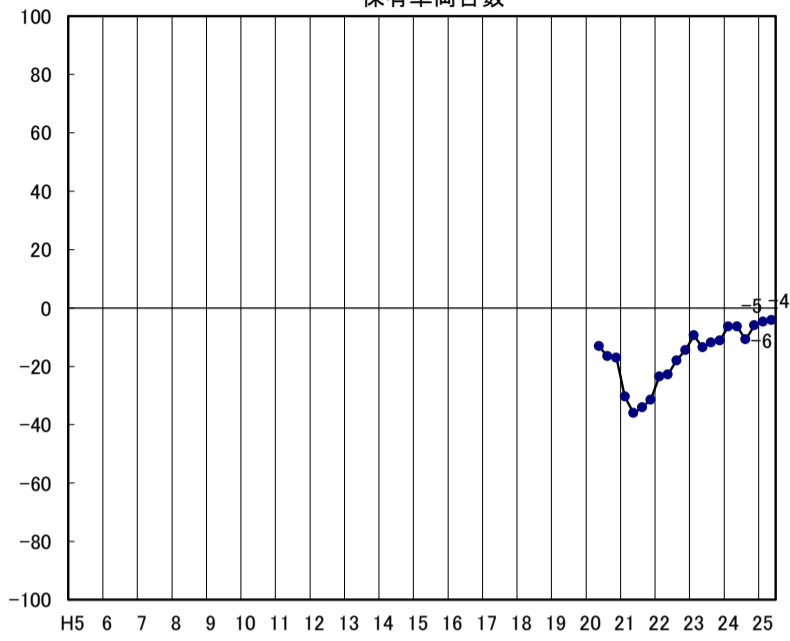


所定外労働時間

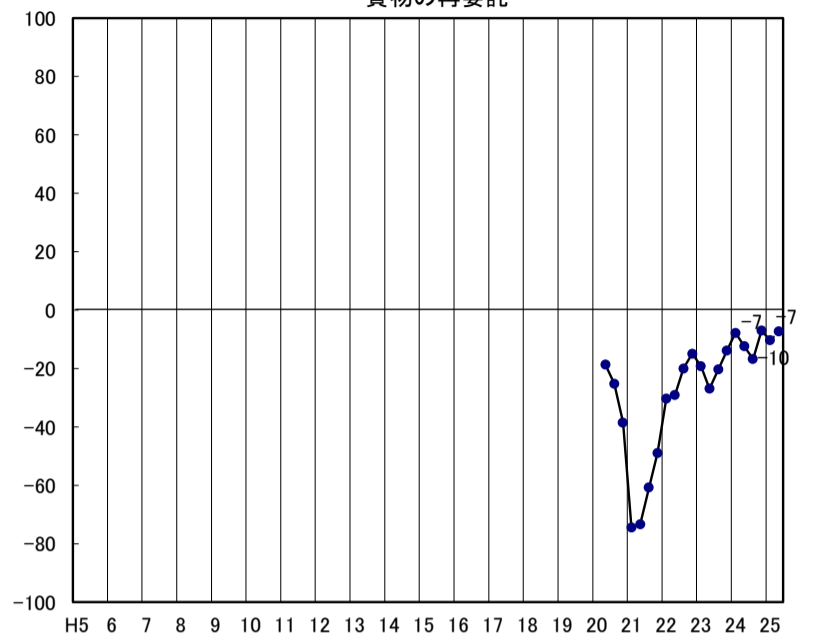


平成5年第1四半期～平成25年第1四半期実績、平成25年第2四半期見通し

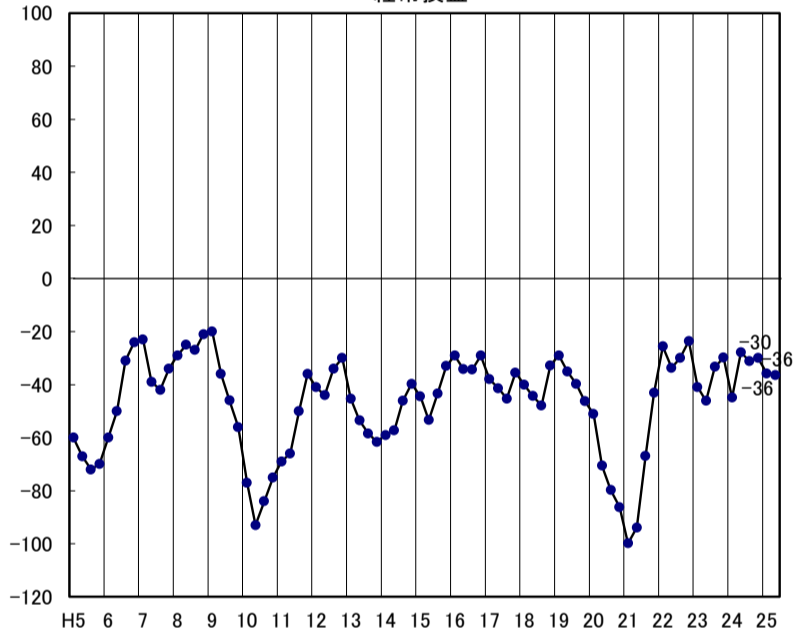
保有車両台数



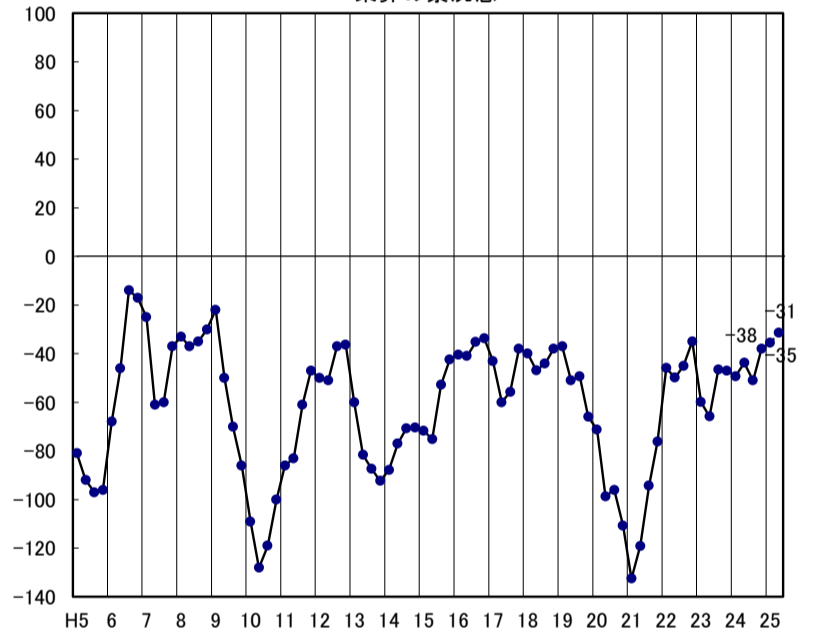
貨物の再委託



経常損益

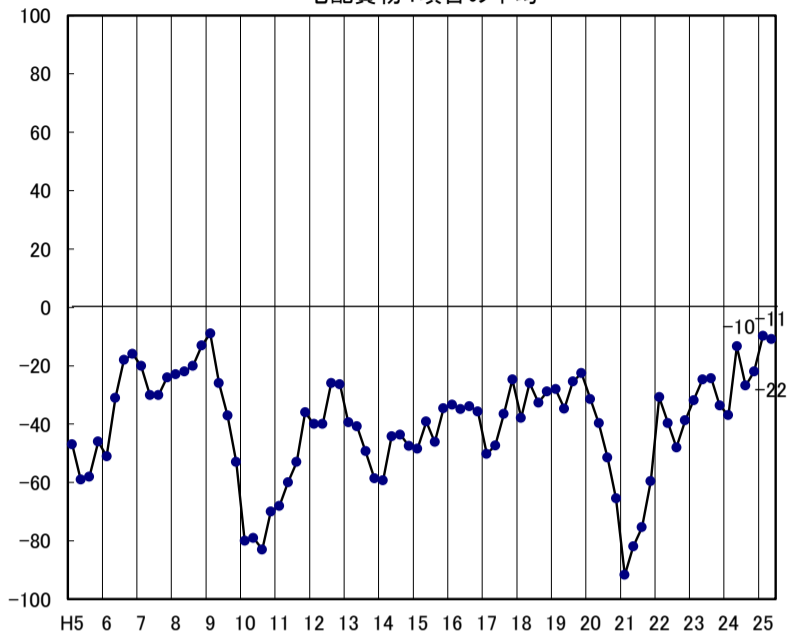


業界の景況感

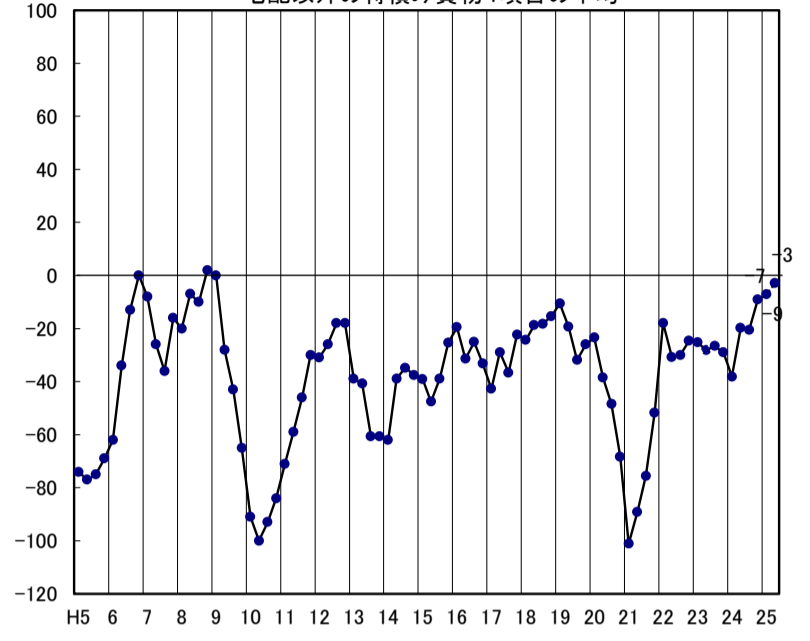


平成5年第1四半期～平成25年第1四半期実績、平成25年第2四半期見通し

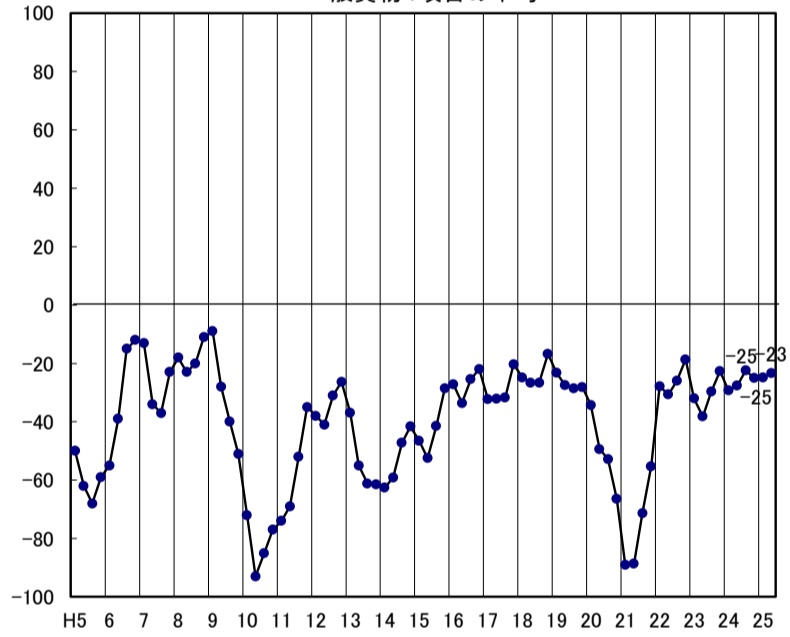
宅配貨物4項目の平均



宅配以外の特積み貨物4項目の平均



一般貨物4項目の平均



全項目の平均

